

20175

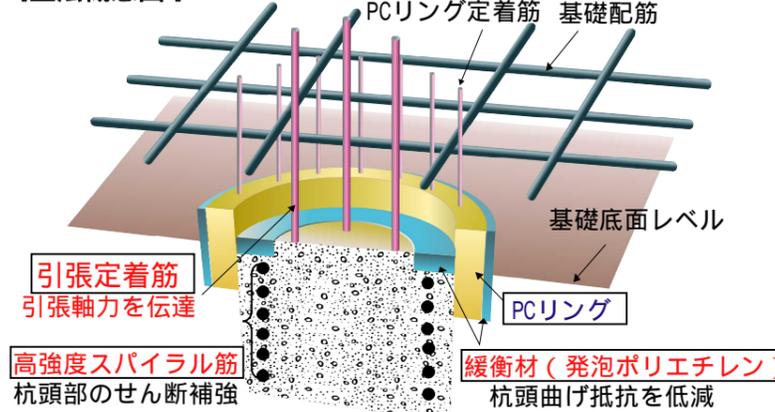
場所打ち杭用杭頭半固定工法の開発 その1 開発背景と工法概要

正会員 吉松敏行 (鹿島建設) 同 伊勢本昇昭 (戸田建設)
同 西村憲義 (三井住友建設) 同 山浦一郎 (五洋建設)
同 許斐光生 (高周波熱錬) 同 魚住正志 (長谷工コーポレーション)

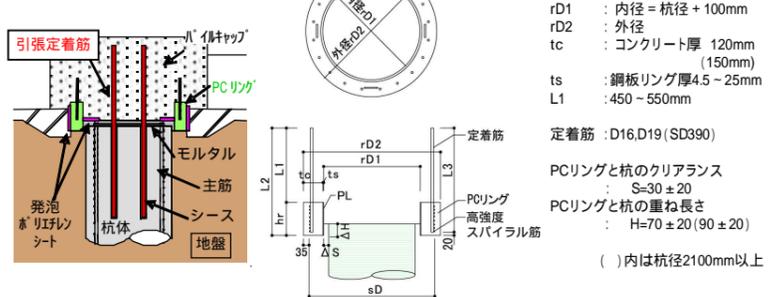
【はじめに】

本工法は、プレキャストコンクリートリングを杭頭にかぶせ、杭頭中央に引張定着筋を配筋した杭頭半固定接合法である。杭頭の固定度を緩和するので、杭頭の地震時損傷を低減できる。地震時に生じる杭頭部引張力にも抵抗できる。杭頭接合断面縮小による効率的な半固定化を実現させた、場所打ち杭用杭頭半固定工法である。

【工法概念図】



【標準仕様】



【適用範囲】

杭種は場所打ちコンクリート杭 (鋼管巻きも含む)
杭径は800 ~ 3000mm
杭体のコンクリート設計基準強度 F_c 21N/mm²

【開発の体制と開発項目】

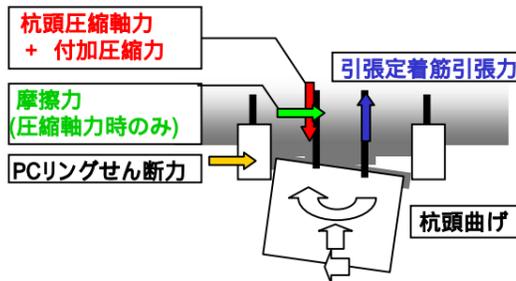
キャブテンパイル工法研究会

- ・鹿島建設(株)
- ・(株)奥村組
- ・五洋建設(株)
- ・戸田建設(株)
- ・飛鳥建設(株)
- ・西松建設(株)
- ・(株)長谷工コーポレーション
- ・松井建設(株)
- ・三井住友建設(株)
- ・高周波熱錬(株)

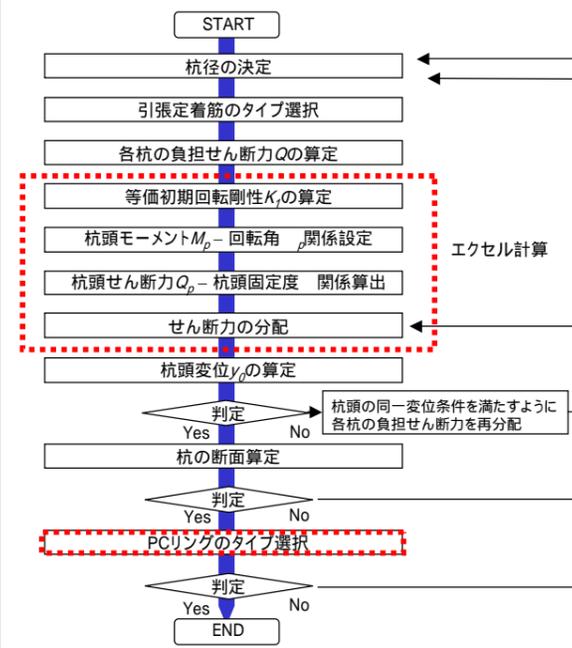
開発項目

- ・工法検討
- ・実験
- ・設計
- ・解析
- ・施工
- ・コスト

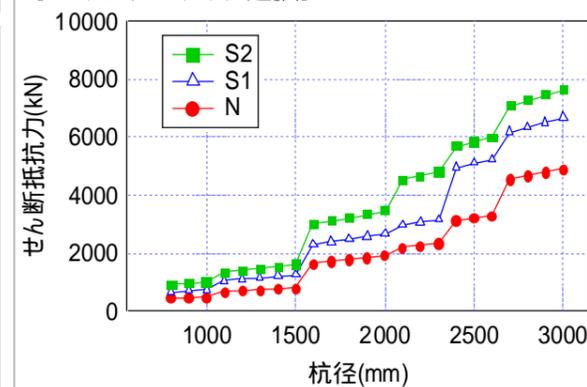
【伝達メカニズム】



【簡易設計フロー】



【PCリングのタイプ選択】



【施工フロー例】

